

- 意見募集期間：令和6年11月11日(月)～令和6年12月20日(金)
- 募集テーマ：「知的財産推進計画2025」の策定に向けた意見募集  
(「知的財産推進計画2024」について見直すべき点や、  
「知的財産推進計画2025」に新たに盛り込むべき政策事項等について)
- 意見提出数：981件(うち、団体数：41法人・団体)  
※ 同一の個人が2件以上意見提出したものは、それぞれ1件として計上

**寄せられた主な意見** (注) 提出された意見のうち、約9割が「AI」に関するもの。

## 知的創造サイクル・新たなクールジャパン戦略

知財の価値が低ければ、知財を活用する人材の市場での価値は小さくなる。知財の価値を向上させることが、最も有効な人材の育成になる。

日本の特許権の価値が相対的に低くなると、日本の技術開発や技術への投資にマイナスとなる。日本の特許権の価値を高めるインフラ整備という視点が必要。

知財戦略を実行するためには、高度な知識とスキルを持つ人材が必要。例えば、知財教育の充実や企業内での知財人材の育成・活用を促進する施策を強化することが求められる。

海賊版対策に関しては、海外諸国との連携不足なのではないかと感じる。

政府として今以上に予算を割いて模倣品の流通阻止に動くべき。

日本の伝統文化を継承する人材が減少しており、地域の文化の維持をする取組が必要となる。

## 生成AI

生成AIにより、多くのクリエイターが著作物を無断利用されている。著作権者の権利を守り、安心して創作活動ができる環境を保ち続けることが重要。AIの規制について法的な対策を講じていただきたい。

著作権者との合意によるデータ収集のみで形成された生成AIサービスを推進すべき。

特定の有識者だけではなく、現場の声も幅広く聞いていただきたい。